

第1章 家庭訪問

草野恵美子 金子仁子 標美奈子 速水裕子 林 友紗 2

A. 家庭訪問における基本的技術……草野恵美子	2	2 Yさんの現在の状況……………13
家庭訪問とは……………2		3 家族の状況……………13
家庭訪問の目的……………2		4 保健師の対応……………14
家庭訪問の主な特徴……………2		2 初回訪問のポイント……………14
関連する法的基盤……………3		演習(グループワーク) 次回の家庭訪
演習1 家庭訪問のプロセスと必要な		問はどのように行うか? ……15
技術……………3		グループワークの報告① 家族それぞ
1 対象者の把握・選定について……………3		れの気持ち(例)……………16
2 家庭訪問の準備……………4		3 家族の関係と家族をとりまく支援の現状を
演習2 環境のアセスメントと初回訪問…6		明らかにする……………17
1 生活環境のアセスメント……………6		グループワークの報告② Yさんの家
2 「お宅に入れて頂く」という場の特性に		族に対し援助すべき内容……………19
おいて配慮すべきこと……………6		グループワークの報告③ 援助すべき
3 関係づくり……………7		内容に対して何ができるか……………20
演習3 室内の環境からのアセスメント		4 次回家庭訪問のポイント……………21
と情報収集……………8		5 家族支援のポイント……………21
演習4 これからの方法として提案でき		C. 家族支援……………標美奈子 23
ることは何か……………8		1 家族支援の視点……………23
1 本人・家族の現状理解の支援, 主体的		2 生活者として個人・家族と社会との関係
解決の支援, 保健師ができることを提		……………24
示……………9		3 家族支援の目的……………24
2 住民や地域組織, 他職種との連携, 他		4 家族のとらえ方……………24
事業へ「つなぐ」……………9		5 家族のセルフケア……………25
B. 家族支援方法—家庭訪問—		6 家族の歴史……………25
…金子仁子・標美奈子・速水裕子・林 友紗	11	7 家族支援のプロセス……………25
家族を単位として支援する必要性……………11		1 家族とそれを取り巻く状況のアセス
事例 統合失調症のYさんとその家族…11		メント……………25
1 家庭訪問からわかったこと……………12		2 家族支援計画……………26
1 今までの経過……………12		3 家族支援の実際……………26

第2章 健康相談 北村真弓 30

<p>A. 個別健康相談演習30</p> <p> 演習 1 24歳の女性本人が健康相談に 来所した。「やせる方法を教え てほしいんです」 どのように考えて次の言葉が けをするか、グループで話し 合ってみよう30</p> <p> 演習 2 娘の貧血相談に母親が来所。 「18歳の娘が貧血なのでその 対策を教えてください」 家族の相談だった場合どうア セスメントするか、どう対応 するかを考えよう31</p> <p> 演習 3 若い女性の声による電話相談。 「あの……。生理が遅れている。 妊娠かもしれない。どうしたら いいか……」 電話での相談を受けたケース についてアセスメントをして、 電話でどのように対応したら よいかを考えよう32</p> <p> 演習 4 新生児訪問による育児支援を 行うにあたって経過をアセス メントしよう33</p> <p>B. 個別健康相談のすすめ方35</p> <p> 1 健康相談の目的・対象35</p>	<p>2 健康相談の方法35</p> <p> 1 面接相談35</p> <p> 2 電話相談35</p> <p> 3 文書による相談35</p> <p> 4 ITを活用した相談35</p> <p>3 健康相談のきっかけ36</p> <p>4 健康相談における保健師(援助者)の 態度・基本姿勢36</p> <p> 1 保健師が相手に示す態度や行動が、 どのように相手に影響を与えるか を認識しておく36</p> <p> 2 倫理的配慮をしっかりと行う36</p> <p> 3 相談しやすい場をつくる36</p> <p>5 健康相談の事業企画・運営・評価 (PDCA)36</p> <p> 1 事業企画・運営36</p> <p> 2 評価37</p> <p>6 個別相談に活かすカウンセリング技法38</p> <p> 1 ヘルスカウンセリングとは?38</p> <p> 2 基本的なカウンセリング技法38</p> <p> 3 カウンセリングの場面で39</p> <p>7 個別相談の展開のプロセス40</p> <p> 1 問題の把握40</p> <p> 2 解決すべき課題と方向性の樹立40</p> <p> 3 計画・援助40</p> <p> 4 評価40</p>
--	---

第3章 健康教育 北村真弓 42

<p>A. 健康教育(集団)の展開42</p> <p> 1 集団健康教育の特徴42</p> <p> 1 集団(グループ)学習の利点42</p> <p> 2 健康教育の方法42</p> <p> 2 集団健康教育の学習方法43</p>	<p>3 教育媒体(教材の活用)43</p> <p>4 健康教育の展開過程44</p> <p> 1 健康教育の企画44</p> <p> 2 指導案の作成46</p> <p> 3 健康教育の実施46</p>
---	---

4	健康教育の評価	46	事例	肥満を気にする 48 歳男性	55
	事例	前期高齢者の腰痛予防	演習 2	変化ステージ理論を用いて時期を確認してみよう	
	演習 1	前期高齢者を対象にした教室の企画・指導案を作成してみよう		ヘルスビリーフモデルを用いて行動変容を応援する過程を考えてみよう	55
B.	健康教育の理論活用演習	51	C.	プリシード・プロシードモデル活用による健康教育	57
1	健康とヘルスプロモーション	51	事例	子どもの事故発生予防の健康教育事業を企画するため、1 歳半前後の子どもをもつ母親 8 人にグループインタビューを行った	57
2	健康教育・健康学習の目的	52	演習 3	インタビューの発言内容をプリシード・プロシードモデルを用いて分析してみよう	60
3	健康教育に関連した理論・モデル	52	演習 4	分析した結果についてグループで話し合い、事故発生予防の健康教育事業を企画してみよう	63
1	保健行動のタイプ	52			
2	レヴィンの変化理論「解凍，変化，再凍結」	52			
3	ヘルスビリーフモデル（保健信念モデル：保健行動に関する合理判断モデル）	52			
4	変化ステージ理論	53			
5	自己効力感（セルフエフィカシー）	54			
6	健康への実際のスキル「力」に関連した理論	54			
7	プリシード・プロシードモデル	55			

第 4 章

グループ活動・地域組織活動の支援

合田加代子 66

A.	セルフヘルプ・グループ活動	66	3	モデルになる人と出会える	69
1	グループの定義	66	4	役立つ情報が得られる	70
2	グループダイナミックス	66	5	社会とつながり、社会に向けて活動できる	70
3	地域組織活動	67	8	セルフヘルプ・グループの成長段階	70
4	保健師がグループ活動・地域組織活動を支援する意義	67	1	結成期	70
5	グループ活動（セルフヘルプ・グループ活動）を支援する保健師の活動	68	2	発展期	70
	演習 1 セルフヘルプ・グループが有する力について考えてみよう	68	3	転換期	71
			4	成熟期	71
6	セルフヘルプ・グループの定義・特徴	68	9	セルフヘルプ・グループの活動内容	71
7	セルフヘルプ・グループの機能	69	1	セルフヘルプ活動	71
1	人間同士の感情の解放と支え合いがある	69	2	仲間づくり	71
2	メンバーが成長する	69	3	自立を高める活動	71
			10	セルフヘルプ・グループと保健師の活動	71

演習 2 グループと保健師の関係	72
B. 住民組織活動を通じた住民主体のコミュニティづくりと保健師の活動	74
1 エンパワメント	74
演習 3 住民の専門性と保健師の専門性	75
2 CBPR(Community-Based Participatory Research)	76
1 CBPR による住民と協働によるコミュニティづくりの例	76
2 A 町にある戸建て団地の一つである G 団地の実態	76

事例 住民が衝撃を受けた孤立死事件	77
演習 4 コミュニティづくり	77
3 G 団地の実態の住民との共有	78
4 住民組織の結成及び組織活動の支援	78
5 住民組織活動の実際	79
6 住民組織活動の評価	80
演習 5 住民組織・団地の変化の評価	80

第 5 章 地域診断演習

山口佳子 野原真理 85

A. 外国人母の育児支援を通して行う

地域診断演習	山口佳子 86
事例の展開	86
1 A さん。26 歳女性。フィリピン出身。母子健康手帳の交付を受ける	86
2 保健センターと委託契約を結んだ助産師の訪問	87
3 各種サービスはあきらめたり、気づかなかったり-幸いにも出産は無事に	87
4 友だちさがし	87
5 風邪を引いても受診できない	88
6 4 か月時健診をきっかけに	88
7 さまざまなサポートへ	89
8 K 市の概要	89

演習 1 A さん一家が K 市で育児(妊娠・出産を含む)をしていく上での問題について考えてみよう

演習 2 演習 1 であげた問題の解決や予防に役立ちそうな社会資源は何かがあるか

演習 3 演習 1 の問題を解決したり予防したりするためには、誰が、どうすればよいか。K 市の保

健師はどうすればよいか

解答例

- 1 A さん一家の支援をすすめるにあたっての考え方
- 2 個別事例から地域診断へ-解決策を考える上でのヒント

B. 地域診断—母子の健康課題から診る

野原真理 99

演習 1-1 子育て中の母親はどんな場

所や施設に集まるのだろうか

子育て広場

児童館

保育所の園庭開放

子育て支援センター

演習 1-2 インタビューガイドを作成

しよう

インタビューガイド

演習 1-3 地域踏査計画を立て地域を

実際に歩いてみよう

地域踏査計画

演習 2 地域特性にはどのようなもの

があるか、コミュニティ・ア

ズ・パートナーモデルにあて

はめてみよう

地域特性や地域の健康状態を表す情報

コミュニティ・アズ・パートナーモデル……108
 演習 3 市の母子の健康課題を抽出し

よう……110
 健康課題の抽出……111

第 6 章 母子保健活動

岩本里織 工藤恵子 西嶋真理子 114

A. 近年の親子を取り巻く環境とニーズ……114
 1 少子化の進行による親の傾向……114
 2 情報の氾濫……114
 3 祖父母世代との子育て観のギャップ……114
 4 育児不安をもつ母親の増加と子育て
 サークル……115
 5 変化するニーズに合わせた母子保健活
 動が重要……115
 6 母子保健活動の流れの概要……115
 B. 個別の親と子の全員に行き渡る支援……116
 I. 妊娠期における支援……116
 1 妊娠時の支援の方法……116
 ① 妊娠届け出と母子健康手帳の交付……116
 ② 妊娠時の健康診査……116
 ③ 母親学級(両親学級)……117
 ④ 妊婦への家庭訪問……117
 事例 1 妊婦への家庭訪問……117
 演習 1 家庭訪問を行うにあたってこ
 の事例にどのような問題点が
 あるのか考えてみよう。具体
 的な家庭訪問の計画を立案し
 てみよう……117
 2 妊娠時の支援の目的……118
 ① 妊娠時の生活への支援……118
 ② 出産・育児への準備の支援……118
 ③ 父親役割獲得への支援……118
 II. 新生児期(出産後)における支援……120
 1 出生後の支援の方法……120
 ① 出生やその時の状況の把握方法……120
 ② 新生児期の家庭訪問……120
 事例 2 出生通知票と電話からの情報……121
 演習 2 ①このケースの事前情報から
 予測される課題はなにか？
 ②このケースの訪問目的はな
 にか？
 ③このケースを訪問する際の
 計画を考えよう……121
 2 新生児期の指導のポイント……122
 ① 新生児のアセスメントと支援内容……122
 ② 母に対しての支援内容……122
 ③ 両親やその他の家族に対しての支
 援内容……122
 III. 乳幼児期における支援……124
 1 乳幼児期の支援方法……124
 ① 乳幼児健康診査……124
 ② 1歳6か月児健康診査……124
 ③ 3歳児健康診査……124
 ④ 乳幼児健康診査の流れ・実際……125
 1) 健診の一般的流れ……125
 2) 保健師の問診、個別相談の場にお
 ける相談のポイント……125
 3) 事後のカンファレンス……126
 4) 健診後の事後措置……126
 5) 経過観察が必要な親子……126
 事例 3 乳幼児健康診査の受診票から
 のアセスメント……127
 演習 3 この受診票で特に問診時に注
 意して確認しなければならない
 点はどんなことか？ 具体
 的に一つひとつ考えてみよう
 ……129
 演習 4 これまでの情報をもとにこの
 対象児と母親をどのようにア
 セスメントするか？……130
 演習 5 この対象児と母親に対して、
 どのような相談・指導が必要

	だと考えるか？	130			142
C.	地域に向けた育児支援	132		ケースカンファレンスの意義	142
	事例 4 新興住宅地の育児教室開催から育児サークルへ	132	E.	ハイリスク児など問題を抱える親子への支援	143
	演習 6 ①母親の育児の状況はどのよう に予測できるか？ 母親 はどのようなニーズをもつ と考えられるか？		1	リスクをもつ母子への支援	143
	②地域での育児サークルの役 割は？		1	心身障害児	143
	③保健師の役割は？	132	2	発達障害児	143
1	母親同士の交流の場のニーズ	133	3	勤労女性	144
2	育児サークルなどの必要性と保健師の 支援	134	4	外国人母子	144
D.	地域に向けた育児支援 2	工藤恵子 135	2	特定のリスクをもつ母子とその支援の 方法	144
1	乳幼児を育てる母親との出会い	135	3	子ども虐待-予防と早期発見	145
	演習 7 最初の出会いの場でどのよう なことに留意したらよいか	136		事例 5 3歳の女兒がほとんど食事も 与えられていないような状態 で死亡	147
	演習 8 保健師が役割分担しながらど のようにかかわっていったら よいか	136		演習 12 保健師としてどのように対応 したらこの子どもの虐待死が 予防できたか？	148
	保健所と保健センター	136	1	子どもの虐待の予防の段階	148
2	育児を行う上での課題	137	2	子どもの虐待を予防するための各機 関の役割	148
	演習 9 訪問の状況からどのようなア セスメントをするか	138	3	子どもの虐待の予防のための支援内 容	149
3	関係機関との連携とケースカンファレ ンス	138	F.	障害のある子どもと親に保健師はどのよ うに関われるか	西嶋真理子 152
	演習 10 どのようにケースカンファレ ンスを進めたらよいか	139	1	心身障害児	152
	演習 11 民生委員の発言をどのように 考えたらよいか	141	2	発達障害児	153
4	地域の課題への発展	141		事例 6 発達障害児の親の会と療育相 談の参加者の交流会	154
	演習 12 ケースカンファレンスの定義			演習 13 交流会開催の準備	154
				演習 14 先輩の親との交流会・支援体制	155
				解答例 1 に対して	157
				解答例 2 に対して	158

第7章 成人期保健活動

岩本里織・岡久玲子 160

A.	成人期保健活動	160		度の変遷	160
1	生活習慣病と成人期を対象にした法制		2	現在における成人期の課題	160

3 特定健康診査・特定保健指導等の健診	162	アセスメントのための質問票の例	174
4 健康増進法における成人期を対象とした保健活動	162	事例 1-2 Bさんの生活状況	175
5 成人期の保健システムと保健師の活動	163	演習 3-3 Bさんの行動変容のステータジは？ 保健指導をどのように実施するか	175
B. 地域での取り組み	165	「積極的支援」レベルの人への援助	175
事例 特定健康診査の受診状況と結果	165	D. 生活習慣病の重症化予防	岡久玲子 177
演習 1 情報から考えられる A 町における成人期の課題をあげよ	166	事例 2 農村地帯 A 町に住む 58 歳女性	177
成人期の健康課題を考える情報源	166	演習 4 糖尿病の重症化予防プログラムの対象者として該当するか	177
演習 2 受診率を高くする具体的対策をあげよ	168	1 生活習慣病対策における重症化予防の重要性	178
1 さまざまな施策	168	2 糖尿病性腎症重症化予防プログラム	178
2 地域住民への健康づくり支援	169	3 対象者の選定	178
C. 生活習慣病ハイリスク者への個別支援	171	演習 5 糖尿病の重症化予防のために、保健師は C さんに対してどのような介入を行う必要があるか	179
事例 1-1 Bさんの特定健康診査結果	171	4 糖尿病重症化予防プログラムの実践例	180
演習 3-1 特定保健指導の 3 つの支援のうちいずれに該当するか	171		
特定保健指導の 3 つのレベル	171		
演習 3-2 Bさんの保健指導にあたって、どのような日常生活の状況を把握する必要があるか	173		

第 8 章 高齢者保健活動

工藤恵子 大越扶貴 浦橋久美子 鈴木 晃 183

A. 認知症の高齢者と家族の支援	工藤恵子 184	2 虐待が疑われる事例に対する支援	188
事例 1 民生委員からの相談で関わりをもった事例	184	事例 2 高齢者虐待…脳梗塞で歩行障害のある母親に暴力が疑われる事例	189
演習 1 情報を整理し予想される問題を検討し、初回訪問の目的について考えてみよう	184	演習 3 デイサービスからの相談で、保健師は初回訪問を介護支援専門員 F とともに実施することとなった	189
保健師による家庭訪問の状況	185	演習 4 シェノグラム、エコマップ、見取り図情報および事例情報から本事例のアセスメントを試みよう	191
演習 2 個別ケアの他に、地域でどのような体制やシステムがあったらよいと思うか	186	3 高齢者虐待の疑い/虐待が生じている	
B. 要介護高齢者に対する支援	大越扶貴 188		
1 高齢者の虐待予防/虐待対応における保健師活動	188		

事例における家庭訪問による居住環境 のアセスメントの必要性……………192	ための支援……………196
4 事例検討会の開催と支援の方向性の共 有……………192	在宅生活のニーズ理解のためのツール —見取図……………196
C. 転倒・閉じこもり予防への支援 ……………浦橋久美子・鈴木 晃 194	6 配偶者の死を受け入れるための支援……………198
事例3 75歳女性。夫が6か月前に 急死した……………194	7 介護予防において把握する情報……………198
演習5 民生委員の情報から予測され るAさんの生活上の問題は何 か整理しましょう……………194	演習6 この事例の訪問計画を立てま しょう……………199
1 地域包括支援センターの保健活動……………194	8 家庭訪問時の状況……………199
2 高齢者の発達課題……………194	9 その後の状況……………200
3 高齢者の閉じこもり……………195	演習7 転倒予防のために見取り図か ら読み取れることは何ですか ……………201
4 高齢者支援をするときの基本的なスタ ンス……………195	10 高齢者が転倒する場所……………200
5 高齢者が住み慣れた家で暮らしていく	11 高齢者の転倒予防のための支援……………201
	1 居住環境の整備……………201
	2 身体状況の確認と身体機能の維持……………203
	3 社会資源の活用……………203

第9章

感染症保健活動

工藤恵子 205

A. 感染症対策……………206	①腸管出血性大腸菌感染症……………210
1 感染症対策の変遷……………206	②食中毒……………210
1 新興感染症，再興感染症……………206	2 施設の感染症対策……………212
2 感染症対策関連法規……………206	演習3 高齢者入所施設から保健所へ の電話相談……………212
2 感染症対策の基本……………207	①集団感染が疑われる場合の初動調査 のポイント……………212
1 感染症対策……………207	②感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)五 類感染症，小児科定点観測対象疾患 ……………212
2 感染症と人権……………207	演習4 初動調査(積極的疫学調査)の 結果から，どのように分析し 対策を行うか……………213
B. 発生時対応……………208	①症例定義……………214
1 感染症調査と対策の実際……………208	②情報の分析と仮説の検証……………214
演習1 21歳男子学生の東南アジア 旅行による感染……………208	C. 平常時対応……………216
①細菌性赤痢……………208	1 知識の普及(健康教育)……………216
②感染症の予防及び感染症の患者に対 する医療に関する法律(感染症法)に よる措置……………209	演習5 「手作りおにぎり」による食中
演習2 腸管出血性大腸菌疑いの患者 を診察したとの情報を受けて の保健所の対応は?……………210	

毒の経験をふまえての講習会	224
.....	216
2 施設(集団)への対応	218
演習 6 感染症発生シーズン前の保健	
所が開催する研修会はどのよ	
うに?	218
①研修会の目的・対象者・内容を明確に	218
.....	218
②マニュアルの活用	218
D. 結核対策	220
1 結核対策の変遷	220
1 1950年代までは途上国より高い	
罹患率	220
2 日本版 DOTS 戦略とは	220
2 結核の基礎知識	221
1 発病の要因	221
2 結核の診断	221
3 結核の標準治療	221
3 患者支援	222
演習 7 感染性肺結核症発症の一人暮	
らし女性への支援	222
①入院勧告	222
②初回面接	223
4 接触者検診	223
演習 8 入院治療中の情報から接触者	
検診をどのようにすすめるか?	
①初発患者の感染性の評価	224
②接触者の評価	224
③定期外検診の実施	224
E. 結核患者退院支援	226
1 入院, 初回訪問	226
演習 9 感染症法による入院患者に,	
初回面接でどのようなことに	
留意したらよいか	226
2 退院に向けての体制づくり	227
演習 10 担当保健師としてどのような	
支援を行ったらよいか	228
演習 11 退院カンファレンスでどのよ	
うなことを確認したらよいか	229
演習 12 服薬を継続するにはどのよう	
な支援が必要か	230
演習 13 薬局からの連絡を受けて保健	
師としてどのように対応すべ	
きか	231
演習 14 地域で DODS を広めていく	
方法は	232
F. エイズ, 性感染症	234
演習 15 保健所での HIV 即日検査を実	
施するにあたって	234
①HIV 感染症・エイズ	234
②HIV 即日検査	234

第 10 章 難病保健活動

森田 桂・多田美由貴 237

A. 難病対策とさまざまな事業	238
1 難病対策	238
2 難病対策としてのさまざまな事業	239
1 難治性疾患克服研究事業	239
2 重症難病患者入院施設確保事業	239
3 特定疾患治療研究事業	239
4 在宅人工呼吸器使用特定疾患患者	
訪問看護治療研究事業	240
5 難病特別対策推進事業	241
B. 難病患者及び家族への保健師の援助	242
1 出会いと病名告知の時期における保健	
師の援助	243
演習 1 保健師に対して不安を訴えて	
いる妻への援助は?	243
2 症状の進行に伴う本人の思いと家族の	
思いへの援助	244
演習 2 家族へと向けられる本人の苛	
立ちに対する保健師の援助は?	

.....	244	助計画・ケア体制づくりは？	249
3 症状が進行し在宅療養生活が中心に 移行する時期の援助245	演習 7 どのような条件がそろって在宅療養が可能となるか？	251
演習 3 療養主体となる時期の保健師 の援助は？246	6 安全・安楽な在宅療養生活維持期に おける保健師の役割	254
4 症状が進行し生命の危機を実感するよ うになった時期の援助246	演習 8 安全・安楽な在宅療養を維持 する保健師の援助は？	254
演習 4 医療依存度が高くなった時期 の保健師の援助は？247	C. 地域ケアシステム構築と保健師	255
5 急変し、医療依存度が高くなった在宅 療養生活移行のための援助248	1 この事例から他の事例にも共通すると 考えられる健康課題	255
演習 5 在宅療養準備のための保健師 の病院訪問のポイントは？248	2 地域ケアシステムの構築における保健 師の役割	256
演習 6 在宅療養移行への保健師の援				

第 11 章 精神保健福祉活動 大木幸子 工藤恵子 259

A. 地域精神保健福祉活動260	4 地域での生活や就労への支援	266
1 地域精神保健福祉活動の変遷260	5 精神保健相談事例における個別ケース 支援に求められる支援技術	267
1 理念260	1 信頼関係・援助関係を構築する	267
2 施策の変遷260	2 生活のほころびや破綻を捉える	267
2 地域精神保健福祉活動における保健師 の役割と活動の視点262	3 本人と家族の解決の力量を捉える	268
1 医学的アセスメントと生活アセスメ ントを統合した支援の視点262	4 本人と家族のセルフケア能力の発揮 を支援する	268
2 予防的視点をもった地域のしくみ づくり262	5 本人と家族を支える支援チームを 形成し、維持する	268
3 個から集団・地域への支援の連続性263	C. 精神保健領域の健康課題をもつケースへ の個別の支援活動(受療支援)	269
①個別ケース支援の視点264	①事例紹介 Aさん男性 40歳, 相談者 母親 70歳	269
②集団への支援の視点264	②インテーク面接	269
③地域への支援の視点264	演習 1 インテーク面接の情報を整理 してみよう ①相談者の相談 主訴 ②Aさんの状況に関す るアセスメント ③家族の状 況に関するアセスメント ④ Aさんと母の問題認識と対処		
B. 精神保健に関する個別ケース相談の特性265			
1 個別ケース相談の持ち込まれ方265			
2 相談受理と相談の開始265			
3 受療及び入院の支援から退院及び受療 継続の支援265			

方法 ⑤予測される問題 ⑥	4 入院への支援	276
訪問の目的と対応の方針	演習 4 事例全体を振り返ってみよう	
1 初回訪問の状況	①Aさんの健康な力 ②保健師の援助内容の留意点	277
1 12月10日初回訪問		
2 室内の様子	D. 様々な問題を抱える家族の支援	279
3 Aさんが語ってくれた内容工藤恵子	
4 保健師の対応	事例 ごみの分別に関する近隣苦情をきっかけに関わりをもった事例	279
演習 2 初回訪問の状況からアセスメントおよび今後の援助計画を検討しよう ①Aさんについてのアセスメント ②援助目標 ③援助計画	演習 5 Aさん家族について得られた情報を整理し、保健師による初回訪問の目的について考えてみよう	280
2 その後のAさんとのかかわり	演習 6 Aさん家族の支援のために、どのような関係者を集め、事例検討会のゴールをどのように設定したらよいか、考えてみよう	282
1 関係づくり	演習 7 Aさんが退院し、Aさん家族は地域で生活を継続していくためには、どのようなシステムやサービスが必要でしょうか	283
2 12月16日保健所精神保健相談		
3 12月21日Uクリニックに同行受診		
4 入院に向けての支援経過		
演習 3 Aさんの状況についてのアセスメントと今後の援助計画を検討しよう ①アセスメント ②今後の援助計画		
3 今後の治療についての検討		

第12章 産業保健活動

猪俣久美 285

労働者に対する支援	3 Aさんの相談場面での様子とアセスメント	288
1 産業看護の目指すところ	演習 2 職場環境に目を向けるには、どのような方法でどのような情報を得る必要があるだろうか	
事例 高血圧に対する健康相談をきっかけに職場改善へとつながった事例	4 その後の経過—職場環境の把握	290
演習 1 相談を受けた保健師として、何について情報収集し、どのような視点でアセスメントする必要があるだろうか	演習 3 どのような課題が明らかになったか。職場の課題にどのようにアプローチするか。	
2 アセスメントの視点	5 その後のAさんと製造部の様子	292
索引		294

表紙 坂本正憲